

松阪子ども NPO センターのミッション

この法人は、子どもの権利条約の理念のもと、行政、企業、NPO 等様々な団体の連携・協働で、すべての子どもたちが、自分は自分でいいと思え、自信を持って自分の人生を切り拓いていけるよう、子どもの権利が尊重され、子どもの最善の利益が保障される地域社会を実現します。

松阪子ども NPO センターは・・・

1974 年、松阪子ども劇場として活動を始め、親子で生の舞台を観たり、小学生から高校生までが参加するキャンプをしたりして、子どもたちが五感に触れる体験をすることで、自分の気持ちに気づき、他人の気持ちがわかる子どもに育ってほしいと会員向けに活動をしてきました。

2000 年、それまでの会員向けの活動からすべての子どもを視野に入れた活動へ方向転換し、特定非営利活動法人松阪子ども NPO センターとしてスタートしました。

活動をととして、子どもたちの自己肯定感の低さを感じます。子どもたちは、「好きな自分」も「嫌いな自分」も、「自信がある自分」も「自信がない自分」もすべてひっくるめて、今あるがままの自分を受け入れることができないでいます。何かができてもできなくても「ありのままのあなたでいいんだよ」と、受けとめられていない現状があるからです。子どもにはチカラがあります。そのチカラを十分発揮するには、周りの大人が子どもの声を聴き、その気持ちを受けとめ、子どものチカラを信じる必要があります。私たちは、子どもと大人がともに学び合い、誰にも優しい地域社会づくりをめざして活動しています。

入会のご案内

(特) 松阪子ども NPO センターの趣旨に賛同し、子ども支援・子育て支援活動を支援してください

正会員	活動を推進する個人	1口	5,000円
支援会員	活動を支援する個人	1口	3,000円
賛助団体会員	活動を支援する団体	1口	10,000円

※入会金 300 円が別途必要です



特定非営利活動法人 松阪子ども NPO センター

〒515-0078

三重県松阪市春日町 2 丁目 1 番地

ルミエール KASUGA

☎ 0598-20-8344

☎ 0598-20-8345

✉ info@mknpo.jp

🌐 <http://www.mknpo.jp/>

開所日/時間 平日 10:00~17:00



まつさかファミリーサポートセンター



0598-20-8246

大台町ファミリー・サポート・センター



0598-22-1950

特定非営利活動法人

松阪子ども
NPO センター

子どもたちがのびやかで豊かな
「子ども時代」をすごすために



2023 年度



チャイルドライン事業

三重県内7カ所の拠点の1つ松阪地域実施組織として、チャイルドライン、オンラインチャット、ネットでんわやこどもほっとダイヤル、で子どもの話を聴いています。その声を社会発信し、子どもの権利保障に取り組んでいます。子どもを権利主体ととらえ、子ども主体の子ども観を広げていきます。



児童養護施設入所児童への学習支援事業

児童養護施設に入所している小学生を対象に、同じ曜日の同じ時間に同じサポーターが週1時間施設に出向き、宿題を基本に支援を行っています。2022年度はサポーター4名で小学生7名を支援しました。マンツーマンで、向き合ったり、寄り添ったりしながら、信頼関係を築き、子どもが自らの力で学習し、新たなことに取り組む意欲が持てるよう支援しています。

養育支援訪問事業

リスクをかかえる支援の必要な家庭に2人1組で訪問し、育児及び家事支援を行いながら子どもと養育者の自立支援を目指しています。2022年度は、17名の訪問員と3人のアドバイザーで、7ケースの家庭に合計124回の支援を行いました。訪問員は、養育者に寄り添い、気持ちを聴き、継続して訪問することで信頼関係を築き、養育者と共に子どもの成長を見守っています。

集団託児事業

子どもと一緒に参加できない講演会や総会、研修会などの主催者からの依頼により、会場に出向いて子どもを預かる託児事業です。子育て中の方の社会参加や、スキルアップ、リフレッシュなどの機会を増やすために利用いただいています。



ネットワークづくり事業

子ども支援のネットワークを広げることを目的として、里親シンポジウム開催や地域の祭りやイベントへの参加に取り組んでいます。ご支援、ご寄付などの呼びかけとともに、子どもたちの現状を知り、地域の中で子どもにとって何が大切かを学び考える機会を作っています。

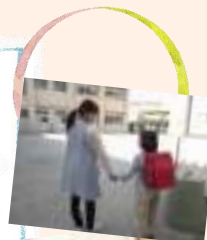
特定非営利活動法人

松阪子どもNPOセンターとは

子ども一人ひとりが尊重され、「生まれてきてよかった！」と思えるような社会を目指して活動しています。

ファミリーサポート事業

子育てを助けてほしい人と、お手伝いができる人を紹介し、子どもの預かりや送迎を行う相互援助活動で、2003年から松阪市の委託を受けて実施しています。2022年度の援助活動件数は1042件で、特徴としては、障がいのある子どもの預かりや送迎の援助が問い合わせも増えて多くありました。関係機関と連携して、子どもを丸ごとサポートしているよう取り組んでいます。



松阪市産前・産後サポート事業

妊娠初期から産後1年頃まで、妊娠・出産、子育てに関して、不安や悩みを傾聴し、相談支援（寄り添い）を行うことで孤立感や育児の不安、生活上の困りごとなどを軽減することを目的としており、松阪市から業務委託を受けて実施しています。

松阪市ぴよママ面談（すくすく応援パッケージ）

妊娠7～8カ月頃にアンケートに回答した人に電話や面談を実施しています。妊婦と出産時や産後の支援・手続きを確認し、産前産後のサービスの利用を検討。夫の育児休業取得制度やパパママ教室等を紹介し、妊婦が安心して出産を迎えることができるようサポートする松阪市からの業務委託事業です。

子どもにやさしいまちづくり事業

月2回の土曜開所日に、ほっとプレイスみんなの居場所「ピンクのきりん」を開設しています。気軽に立ち寄ることができ、地域の子どもと大人が会える居場所です。また、映画会・講演会を開催し、子ども・子育て関連団体の繋がりづくりに取り組んでいます。

産前・産後ママサポート事業

出産予定日1か月前から1歳までの赤ちゃんのいる家庭を対象とした訪問支援事業で、家庭に出向き、1日2～3時間程度、赤ちゃんの世話や軽い家事のお手伝いをします。松阪市と大台町で実施し、2022年度は16名の入会、7件の活動がありました。不安な気持ちが少しでも楽になるよう地域で助け合い、「頼っていいよ」ということを発信しています。



はっぴいサポート事業

18才までの支援が必要な子どもへのサポート事業です。発達障害の子どもの登校支援など年間何件もの相談が寄せられ、それに応えようと2021年度に立ち上げました。どのケースも福祉や教育の支援だけでは実現しないものばかりで、当センターも他機関と連携協議しながら、子どもを丸ごとサポートすることができるよう努めています。

シニアサポート事業

高齢者（65歳以上）の一人ひとりを尊重し、地域の中で「ちょっと助けて！」の声に応じて、話し相手、片付け、付き添い等を行い、「おたがいさま」の気持ちで自立支援をします。

広報事業

2022年度から、広報紙「kodomo21」の発行を休止し、ミッションパンフレットを年1回発行しています。また、SNSを活用し、子育て世代のスタッフの感覚で日常的話題を発進しています。ホームページとフェイスブック、Instagramを活用して様々な情報を提供しています。

